QAHWA

カフアワンタッチ

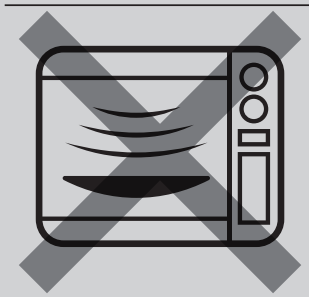
Teflon™加工
コーヒーボトル

HOT & COLD

取扱説明書

この度は本商品をお求め頂き誠にありがとうございます。

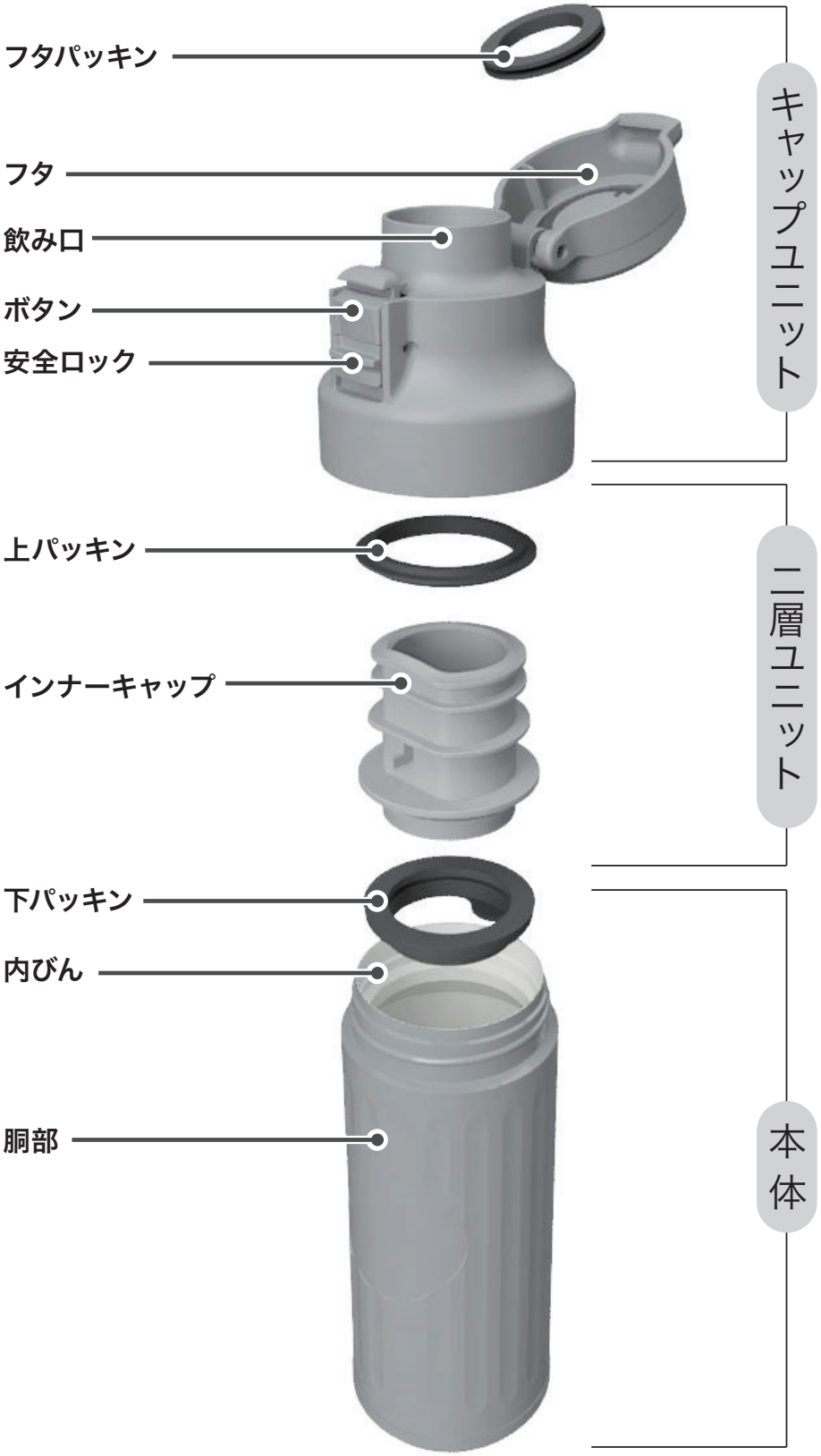
本商品を正しくお使い頂くために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読み下さい。お読みになった後は大切に保管し、ご使用上不明な点や不具合が生じた場合はお確かめ下さい。



電子レンジ
使用不可

食器洗浄機
食器乾燥機
使用不可

◇各部の名称



※図、イラストはイメージです。実際の商品とデザインなど異なることがあります。

ご使用方法

※ご使用前にキャップユニット、二層ユニット、本体を十分に洗って下さい。

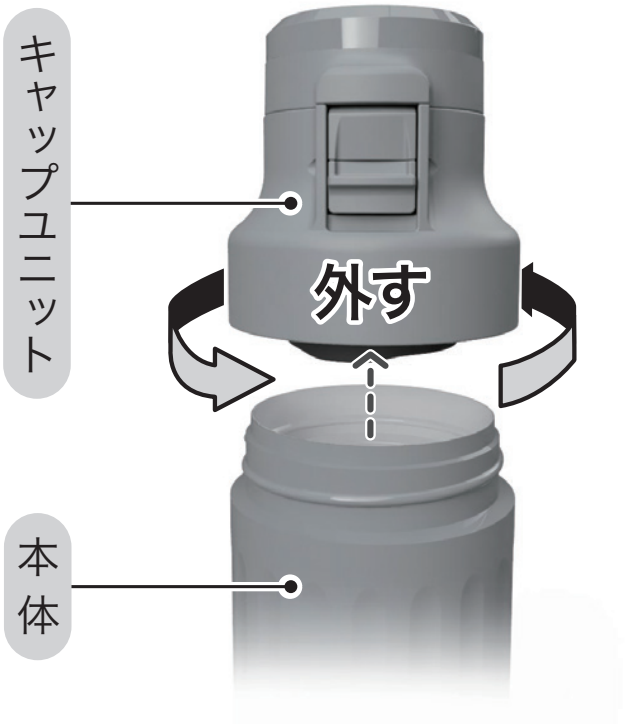
①キャップユニットを外す

外す

キャップユニットを反時計回りに
回して外します。

閉める

キャップユニットを時計回りに
回して閉めます。



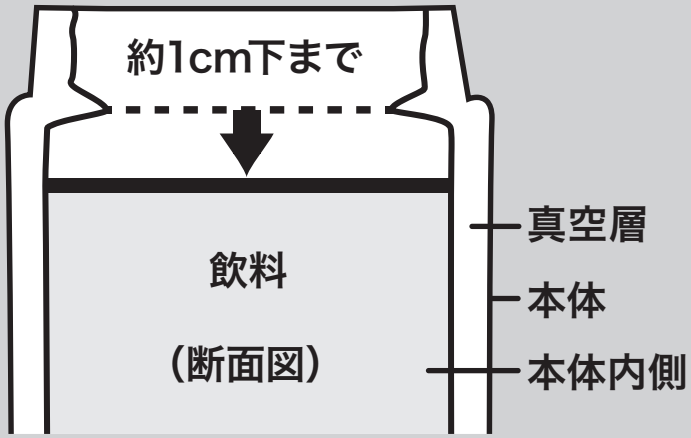
※キャップユニットを外す際は、本体を傾けたり揺らしたりしないで下さい。内容物が溢れ出て、やけどや周囲の物を汚す原因になります。

②飲料を入れる

POINT

あらかじめ本体内側に熱湯（冷水）を
入れ、1分程度予熱（予冷）すると
保温（保冷）に、より効果的です。

本体内のくぼみから
約1cm下までが目安（少なめ容量）



ご使用方法

③フタのロックをする

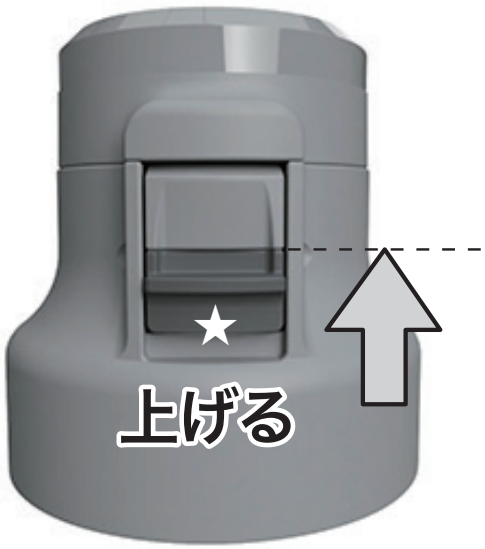
ロックする

**★を矢印方向に下げると、
フタをロック出来ます。**

※操作部分は色を濃くして表現しています。
※持ち運ぶ際は必ずロックをして下さい。

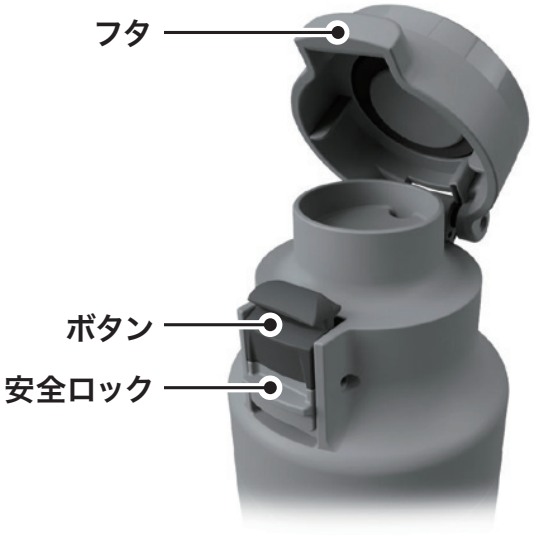
解除する

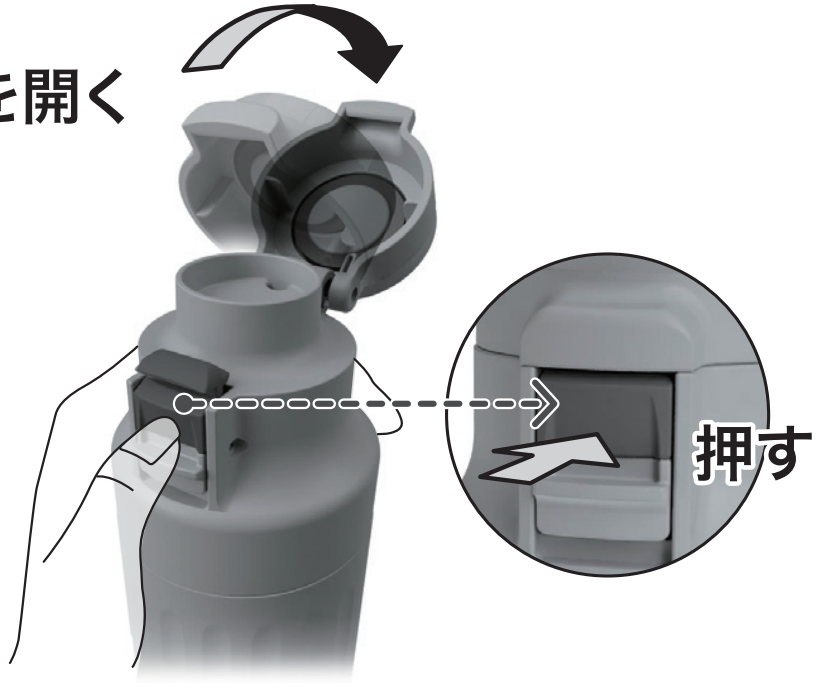
**★を矢印方向に上げると、
ロックを解除出来ます。**



※安全ロックをロックしても強い衝撃で
フタが開く恐れがあります。ご注意下さい。

④ロックを解除し、
ボタンを押してキャップを開く





※フタが勢いよく開く場合があります。ご注意下さい。

ご使用方法

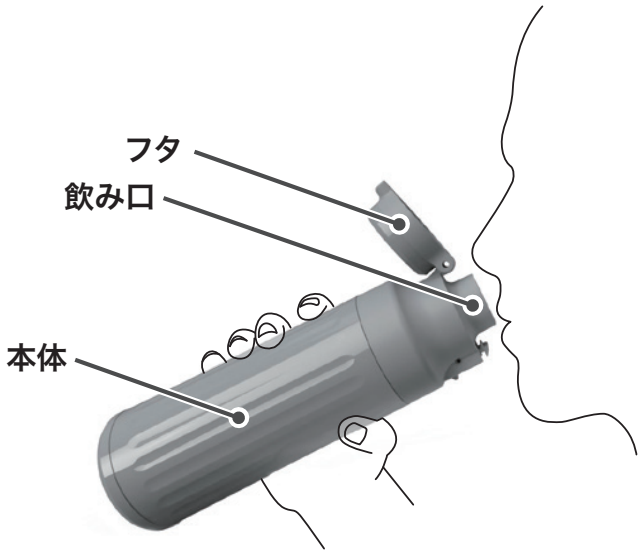
⑤飲料を飲む

■ **口を付けて、本体をゆっくり傾けながら飲んで下さい。**

※熱い飲料を入れた場合は、やけどにご注意下さい。

■ **本体の凹凸面に指をしっかりかけてお持ち下さい。**

※本体を落とすと、変形や破損の恐れがあります。ご注意下さい。

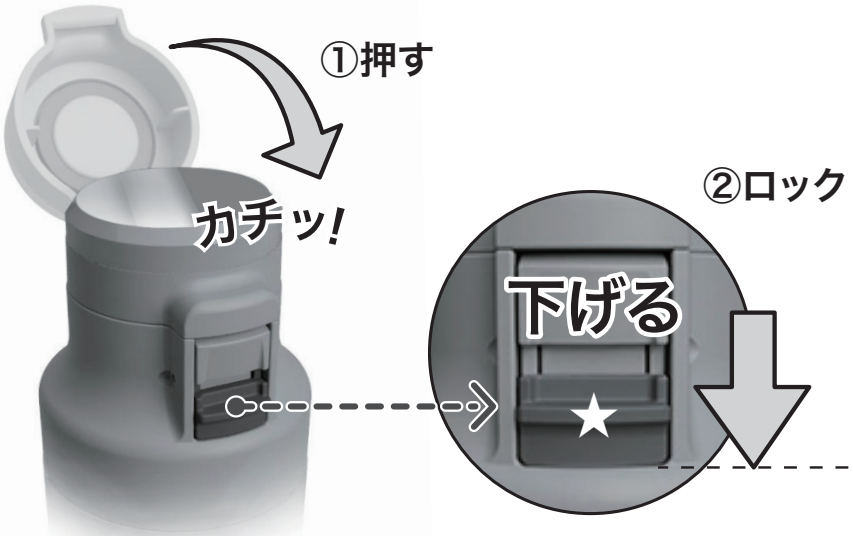


⑥飲み終わったら

■ **カチッと鳴るまでフタを押して、確実に閉めます。**

■ **★の安全ロックを下げて、ロックして下さい。**

※フタを開けたまま放置をしないで下さい。本体が転倒し、内容物がこぼれてやけどや周囲の物を汚してしまう恐れがあります。



※操作部分は色を濃くして表現しています。

次のものは絶対に入れないで下さい

▶ドライアイス、炭酸飲料
(炭酸ガスの圧力で飲料が溢れる場合があります。)

▶牛乳、乳飲料、果汁など
(成分が腐敗する恐れがあります。)

▶みそ汁、スープなど塩分を含むもの
(本体内側はステンレス製ですが、サビや変色などの可能性があります。)

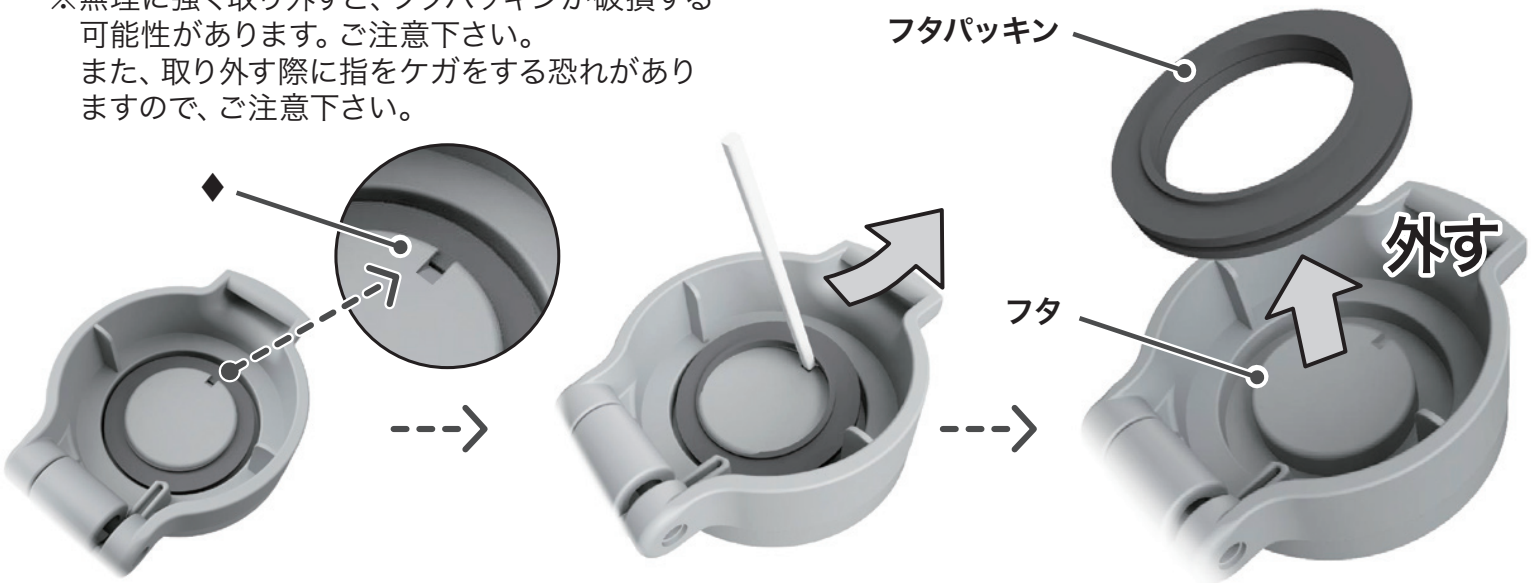
▶アルコール類、お茶の葉、果肉など
(詰まり、漏れなど故障の原因になります。)

キャップユニットの分解・組立方法

①キャップユニットの分解をする

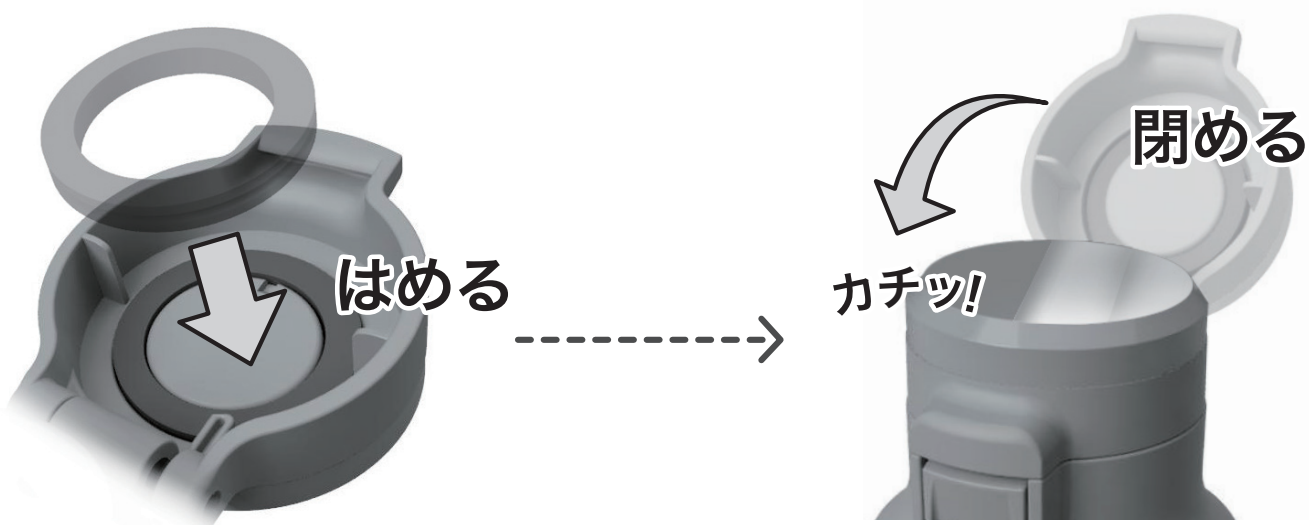
爪楊枝などの細い棒を◆のスリットに差し込み、フタパッキンを少し持ち上げてから、つまんで取り外しをして下さい。

※無理に強く取り外すと、フタパッキンが破損する可能性があります。ご注意下さい。
また、取り外す際に指をケガをする恐れがありますので、ご注意下さい。



②キャップユニットの組立てをする

フタパッキンを取り付けたら、フタを閉めて完了です。



※操作部分は色を濃くして表現しています。

※フタパッキンを正しく取り付けないと漏れや、やけど、破損の原因となります。ご注意下さい。

キャップユニットと二層ユニットの分解方法

二層ユニットを取り外す

STEP1

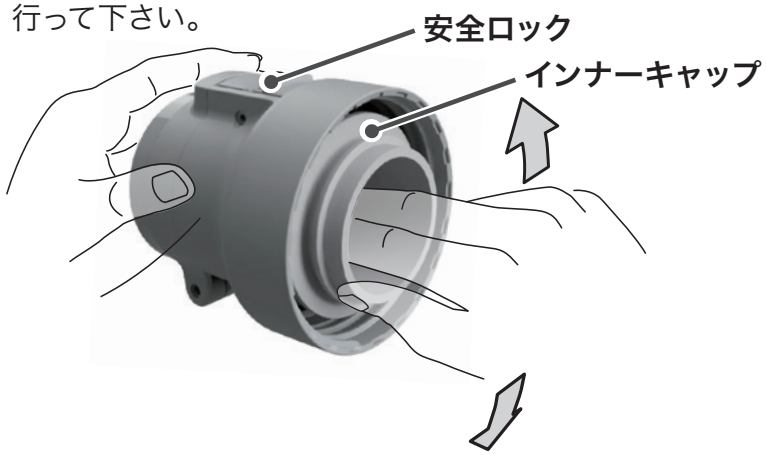
インナーキャップから下パッキンを外します。

※無理に引っ張ると、破損する可能性があります。
ご注意下さい。

STEP2

キャップユニットを下の図のように持ち、インナーキャップをつまんで、軽く上下に揺らしながら引きます。

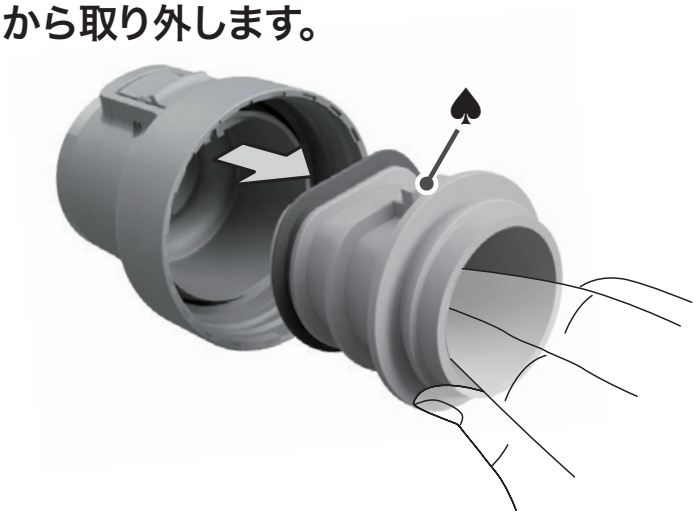
※安全ロックが上向きになった状態で持ち、取り外しを行って下さい。



※強く揺らしすぎると破損の原因になります。
ご注意下さい。

STEP3

インナーキャップをキャップユニットから取り外します。



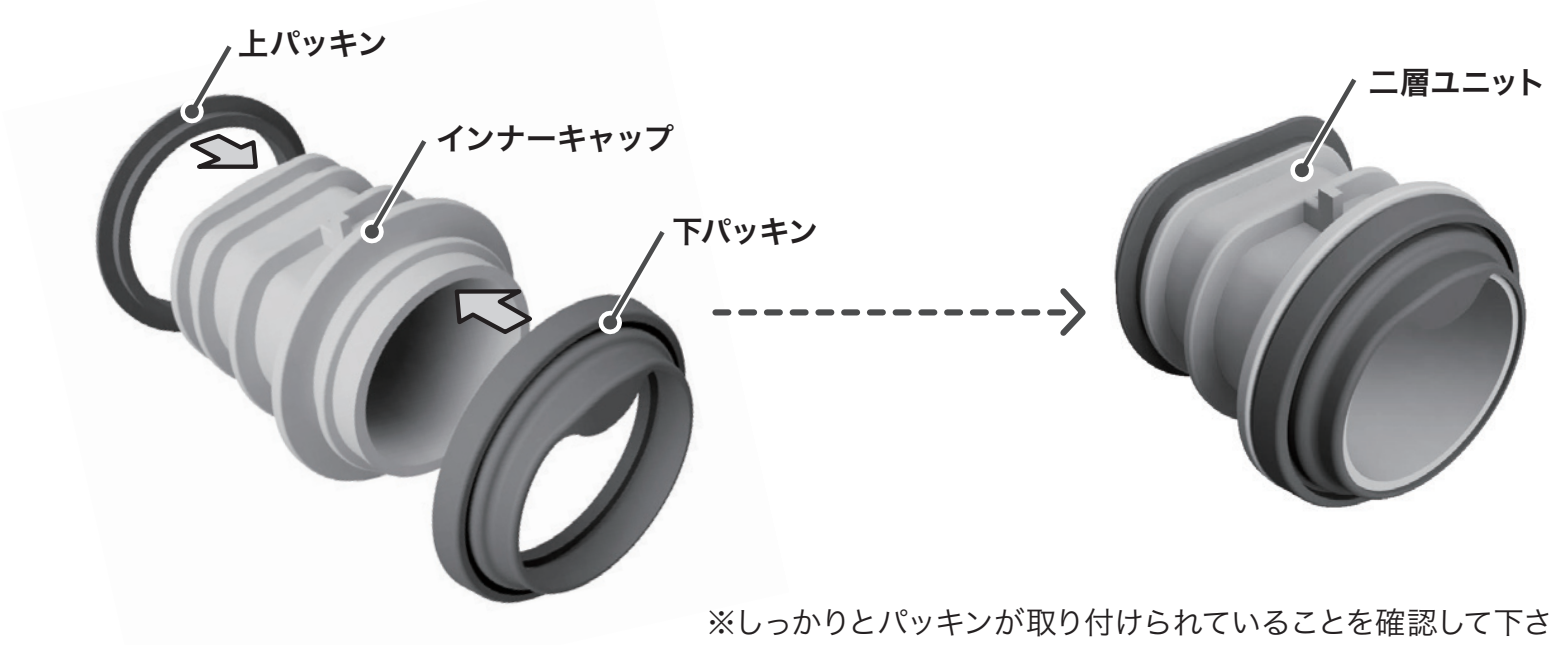
※横には揺らさないで下さい。インナーキャップの♠の突起が破損する原因になります。

STEP4

上パッキンをインナーキャップから取り外します。

二層ユニットの組立方法

インナーキャップに上・下パッキンを取り付けます。



※しっかりとパッキンが取り付けられていることを確認して下さい。

キャップユニットと二層ユニットの取り付け方法

二層ユニットをキャップユニットに取り付けます。

※しっかりと二層ユニットが取り付けられていることを確認して下さい。

安全上のご注意

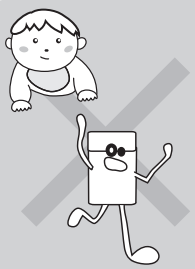
●表示マークの意味について、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが想定される」内容です。

●絵表示の意味について、お守り頂きたい内容の種類を次の絵表示で説明しています。

禁止	この表示の欄はしてはいけない「禁止」内容です。
必ずおこなう	この表示の欄は必ず実行して頂きたい「強制」内容です。

⚠警告



乳幼児の手の届く所には置かないで下さい。また、いたずらをしないように十分注意して下さい。

※ケガ・やけどの原因になります。

禁止

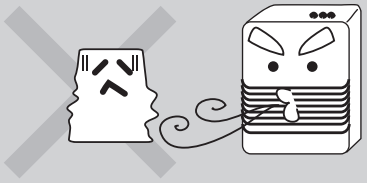
飲料の保温・保冷以外の用途に使用しないで下さい。

※サビや漏れの原因になります。

禁止

ストーブやコンロなど火気のそばに近付けないで下さい。

※変形や変色、やけど、漏れの原因になります。



禁止

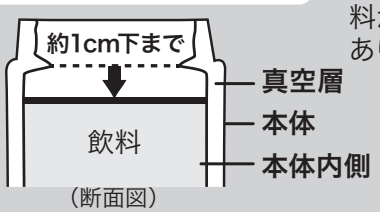
傾けた状態、または顔などを近付けた状態でフタを開けないで下さい。

※熱湯を入れた場合本体の内圧が上がり、湯が急激に出たり、飛散したりしてやけどなどの危険があります。

禁止

飲料の量は図の位置までとして下さい。

本体内のくぼみから約1cm下までが目安（少なめ容量）



（断面図）

※入れすぎますと、フタを閉じた際に飲料が溢れる場合があります。

必ずおこなう

フタはパッキンが正しく取り付けてあることを確認してから閉めて下さい。

※漏れの原因となります。

必ずおこなう

⚠注意

電子レンジに入れないで下さい。

※金属部がスパークして電子レンジが故障する原因になります。また、熱により部品が変形して漏れの原因になります。

禁止

改造、分解、修理は絶対にしないで下さい。

※故障、事故の原因になります。

禁止

⚠注意

外出時など十分にお手入れが出来ない場合でも、ご使用後はすぐに本体内側をよく水洗いして下さい。

※使用後放置したり、傷が付くと、サビや穴あきなど故障の原因になります。

必ずおこなう

水洗いの際には本体内側のコーティングが傷付く場合がございますので、柔らかいスポンジなどをご使用して下さい。

※傷が付くと、サビや穴開きなど故障の原因になります。

必ずおこなう

ご注意とお願い

運転しながらのご使用は、危険ですのでお止め下さい。

車の中など高温になる場所には、放置しないで下さい。
※腐敗の原因になります。

熱い飲料を入れた場合は、やけどに十分ご注意下さい。

煮沸はしないで下さい。
※変形や破損により、漏れや保温保冷不良などの原因になります。

本体底面に貼ってあるシールを絶対に剥がさないで下さい。
※サビ・穴あきなど破損の原因になります。

本体の絵柄を爪や固いもので引っ掻いたり擦ったりしないで下さい。また洗う際も、絵柄は柔らかいスポンジで優しく洗うようにして下さい。

※塗装が剥がれる原因になります。

丸洗いは出来ますが、つけ洗い（水中に放置）はしないで下さい。
※サビ・穴あきなど破損の原因となります。

本来の用途以外で使用しないで下さい。

バッグなどに入れる場合は万一の漏れを防ぐために必ず本体を縦置きにして下さい。
※本品を横置きにすると、中の飲料が漏れる場合があります。

フタを開く際に、勢いよく開くことがあります。ご注意下さい。

フタを確実にロックしてご使用下さい。
※漏れてやけどや物を汚す原因になります。

落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えないで下さい。
※変形や破損により、漏れや保温保冷不良などの原因になります。

塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属たわしみがき粉、クレンザーは使用しないで下さい。
※傷やサビなどの原因になります。

飲料を入れたまま長時間放置しないで下さい。
※変質や腐敗の原因になります。

本体内に水滴を残したまま保管しないで下さい。
※サビなどの原因になります。

フタパッキン、上パッキン、下パッキンがしっかり取り付けられているかご確認下さい。

※飲料の漏れの原因となります。

お手入れ方法

匂いや汚れを防ぎ、いつまでも清潔にご使用頂くために、ご使用後は必ずお手入れをして下さい。

●お手入れはぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用して下さい。
●汚れが落ちない場合は、下表に従ってお手入れをして下さい。
●長期間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし、完全に乾燥させてから清潔な場所で保管して下さい。

部品名	洗い方	お手入れ方法
キャップユニット・二層ユニット	○ すすぎ洗い	パッキンを外した状態できれいに洗い、**十分に乾燥させて下さい。**お手入れの後は、各パッキンが正しく取り付けられていることをお確かめ下さい(P5、P6、P7参照)。間違えて取り付けると、漏れや破損の原因となります。
	✕ 酸素系漂白剤 ✕ 塩素系漂白剤	使用しないで下さい。 塗装が剥がれる原因になります。
本　体	○ すすぎ洗い	きれいに洗い、十分に乾燥させて下さい。
	○ 酸素系漂白剤 ✕ 塩素系漂白剤	内面の汚れが落ちない場合は、酸素系漂白剤をご使用下さい。その際、本体はフタで密閉しないで下さい。本体の内圧が上がり、フタが飛び出すことがあり危険です。※外面に関しては、塗装の剥がれ、サビなどの原因になるため、使用しないで下さい。

食器洗浄機 食器乾燥機	**本体破損、プラスチック部品の変形などの原因となりますので、絶対に使用しないで下さい。 ※キャップ内部の接着剤の溶解の原因になります。**

仕様

部品名		材 質
本　体	内びん	ステンレス鋼（ふっ素樹脂塗装加工）
	胴　部	ステンレス鋼（アクリル樹脂塗装加工）
キャップユニット	フタ	ポリプロピレン、ステンレス鋼（アクリル樹脂塗装加工）
	フタパッキン	シリコーンゴム
二層ユニット	インナーキャップ	ポリプロピレン
	上パッキン	シリコーンゴム
	下パッキン	シリコーンゴム

※仕様は、改良改善のため予告なく変更する場合がございます。

こんなときは・・・

ご不明な点がありましたら、以下の項目をお確かめ下さい。

不具合	お確かめ下さい	対処方法
飲料が漏れた	キャップユニットは閉まっていますか	キャップユニットはしっかり閉めてご使用下さい(P2①参照)。
	キャップユニットに二層ユニットが正しく取り付けられていますか	キャップユニットに二層ユニットをしっかり取り付けてご使用下さい(P7参照)。
	フタは正しく閉まっていますか	飲み終わったら、フタを確実にロックして閉めて下さい。
	飲料を入れすぎていませんか	飲料を入れすぎない様にして下さい(P2②参照)。
	パッキンが外れていませんか	3箇所のパッキンが正しい位置に確実に取り付けられていることを確認して下さい（P5、P6、P7参照）。
	パッキンが破損または消耗していませんか	交換用のパッキンをお求め下さい。 お求めはお問い合わせ先までご連絡下さい（P12参照）。
本体内側が変色した	汚れではないですか	酸素系漂白剤をお使い下さい（P10参照）。
	斑点状の赤サビではないですか	水に含まれる鉄分などが付着したものです。ぬるま湯に約10%程度の食酢を入れ、キャップユニットを外した状態で約30分後によく洗って下さい。
	さわるとザラザラしていませんか	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。ぬるま湯に約10%程度のクエン酸を入れ、キャップユニットを外した状態で約3時間後によく洗って下さい。
保温・保冷が効かない	飲料の量が少なくないですか	本体内側を予熱・予冷しておくとより効果的です。また、飲料の量を多くすると持続性がアップします（P2②参照）。
	本体の外側が熱くなっていませんか	内部構造に不具合が考えられますので、お問い合わせ先までご連絡下さい（P12参照）。
異臭がする	本体内側に汚れが付着していませんか	ご使用後はきれいに洗い、完全に乾燥させて下さい。異臭が取れない場合は酸素系漂白剤をお使い下さい（P10参照）。
パッキンが変色した	汚れ・カビが付着していませんか	汚れ・カビが落ちない場合はパッキンを取り替えて下さい。 お求めはお問い合わせ先までご連絡下さい（P12参照）。
飲料が腐敗した	長時間保存していませんか	中に入れた飲料は出来るだけ早くお召し上がり下さい。

※長期間ご使用になられない場合は、各部（フタパッキン、上パッキン、下パッキン、その他各パーツ）を分解した状態で保管して下さい。保管後ご使用の際は、組み立ててからご使用下さい（P5、P6、P7参照）。

お問い合わせについて

商品の品質管理には、万全の注意を払っておりますが、万一商品に不具合が生じた場合や商品に関するお問い合わせ・ご質問などがございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

発売元
株式会社**シービージャパン**

お客様相談窓口
0120-934-699
（受付時間：平日10：00〜17：00）

CB JAPAN ONLINE SHOPはこちらから
http://www.fueru-mall.jp/f-cb/

弊社サイトはこちらから
http://www.cb-j.com

シービージャパン 検索

CB JAPAN CO.,LTD.

3 THIRD WAVE COFFEE QAHWA

サードウェーブコーヒーとは、ブレンドされていない「シングルオリジン」をドリップで丁寧に抽出し、ワインのようにその地域ごとに異なる風味や味わいを楽しむコーヒーです。

Teflon™加工とは

「テフロン」及び「Teflon」は、ふっ素樹脂についてのケマーズ社の商標です。
ライセンスにより株式会社タイエイジャパンが使用しております。

QAHWAのボトル内面はテフロン™加工を施し汚れがつきにくく、落ちやすいので衛生的。
飲み物の匂い移りなどもしにくく、コーヒー本来の味と香りをお楽しみ頂けます。